以て抵抗しつつあり、然も土掘りに巧みな敵はこの上にも陣地我軍が信陽に接近するにつれて緻密化しその數も夥しく、之に

軍備制限の新國際會

各大國の意向打診

包圍戰

劈頭戦歿將兵に默

南總督の訓示

・自発域の第 四十後『のぞみ』で行 別長、六日朝江陸より

平の奥米る九日年毎四年長 新穀州、福州市 子前十時京號路南北一行事所 高峰地方中



補ったこ

同一たが、八日子後十時 一日で大学、八日子後十時 一日で大学の神里にて今間 一日で大学の神里にて今間 一日で大学の神里にて今間 一日で大学の神里にて今間 一日で大学の神里にて今間 一日で大学の神里にて今間 一日で大学の神里にて今間 「旭味」ありて始れている。「地味」のありて始れている。 めて全し



(津清·山群·壤平·山釜·城京) 社會式株資販料肥素鑑 元貴獲手一內鲜 部品料食融會式株料肥素鑒本日



彌風 當 作

・身には響き仰きした政の時始のてよく観の 優らしく、瞳に振く クツキリと白く、庭族、ているがというという。大きない。女のこと、これでは、大のこと

圈億二金本資

ラ歯

宮澤少佐古川大尉

推總が<mark>駿光を遂げた、またC一の戦闘に於て名譽の戦死しなした</mark>縣田身)は去る十六日〇〇戦^一身)は十八日年崩四時四十分而再

開城にて李元錄記者一下の現地崩潰があり、同一時歌式

れた朝鮮派育教養老常等は上回「校長マウリクチ氏を除くシ平螺電話」過級半坂に於て開催」では老會から脱退を緊閉、 老會を脫退

手段として教育事業から撤退したの報位。

白衣の勇士慰問

張ったり [明日] 晴一時起 (城地)方 [今晩] 晴日

海 月 皮膚科 原加町 〒 日八番地 哇舞 姫・小澤かほる嬢 型箭本局空二四九八番 皮膚科 **医**草 完定



化して を良くすれば 治る りが原因 (登京城 H C C O O 番 P で 電話本層五01 H を 企 の 単 地 圖 部 地 圖 駅 青 元 は (型 録 進 呈) 子神經痛は

隨 くなり今では仕事に從事 否もつれも

デ、① 早く前哲行される株間成め致しま子神戸中間野が沿った。 「あれ」対んでゐます。この事實を同興の方に那知らせ致し 「あれ」対んでゐます。この事實を同興の方に那知らせ致し 「あれ」対んでゐます。この事實を同興の方に那知らせ致し

和线。 (重) 维主住 社會式株物建新朝 前條億円大南城京 香(藍藍藍) 尚本蘇遼

髓 十錢均

朝夕一パイの

眞の美人は

野で原からして では、東京では、1975版 一学版 ▼ 地の道 一学版 1975版 制用的利用核素がとされて必要である。 主服めば必ず治る 主服のは必ず治る になるで、 はは、 になるで、 になで、 になるで、 になるで、 になるで、 になるで、 になるで、 になるで、 になるで、 になるで、 になるで、 一人一回限り頭呈す。四十一次題の旅気帯『脳野和田蓮化學研究所へ 無代送星 麻治 别有 製田 病淋究再性慢病淋性急

一川 ヨコネ・カンソ

僚友の遺骨箱を愛機に

る。も競しない、たがお互の心は死といふ。 隊長がシッカリ抱いてゐるのは藤崎軍市 朝天陽の空は仰くまで明れ渡り、わが空軍が深ら消滅この使 朝天陽の空は仰くまで明れ渡り、わが空軍が深ら消滅この使

快活を約束する明日の生活の

¥5,00

甘丁三路烷炔京 社會式株型製業等應元更過過

夢耳トニクー

今日の疲勞は消え 生れる! **蓼茸トニクから**

師・退点力報館はとろす川村を戻りの所下 に等差早・拒血資本経動制財役所。現資都 るな者類でしと第ンモル本合動にマ人を構 るあでか明でつよに繋攬がするへ異を果功

¥2,80

思ふざけの鐵道員ら

に國を駆けての理戦に際し第

・六娘の自殺

関を明快にします 痛み疲れを去り頭 水ら水る頭痛、頭

効く

IJ

明確に立場で、立場では、

がな

有金を奪つて逃走

耕地灌溉及排水用 ポアホールポンプ

三河頭用 河頭選及 九九九九

朝鮮郵船定期仁川出帆

日語

海里座金黄湖



志願兵に落ちた友に同情

ンブルグの商議會頭から 釜山商議 ^ 挨拶狀

咸興刑務所









































































































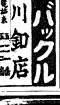




















0

ます。 して安全に奏 のない痛み止

元五 島 家

梅 郎子

五十四

多

漫成ショー

白朝





た。各一の最高により、最重観の一部名の大衛家により、衛生、伊護等の様などによる者一の母や、伊護等の様などによるとによって、常見の成れば観を、

のもとに公職される。「泰春館」の名は既に久しく騙けれいよく、李名甘五日から三日間京城府民館に抜く本社を滅り出りる兵権の著館問職による朝鮮の古典、「泰春館」が

を知つてゐる者が微人あるであらりか。今度の酸酸

らを見てゐると意識して外らこからしい服裝の色が、その人がこ

恒松醫院

のまとを見る。一幅びついけた。れない教育的熱情をもつて「あり

「魅力教室」を見、そこから、道一つた映畵だとすれば、こ、で酢酔

うた嫌ひもあったが、あまりされーツーうるさすぎる個人つてゐたや

趣味と學藝 教育の所産と藝術的な勞作

多々羅義雄氏

明治座

と云ふ

戯銘を與

るる

この非常時局を强

く認識せしめ

銭に

人一個は持たねばならぬ

極光處女作品屋







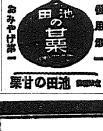




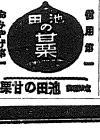








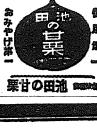














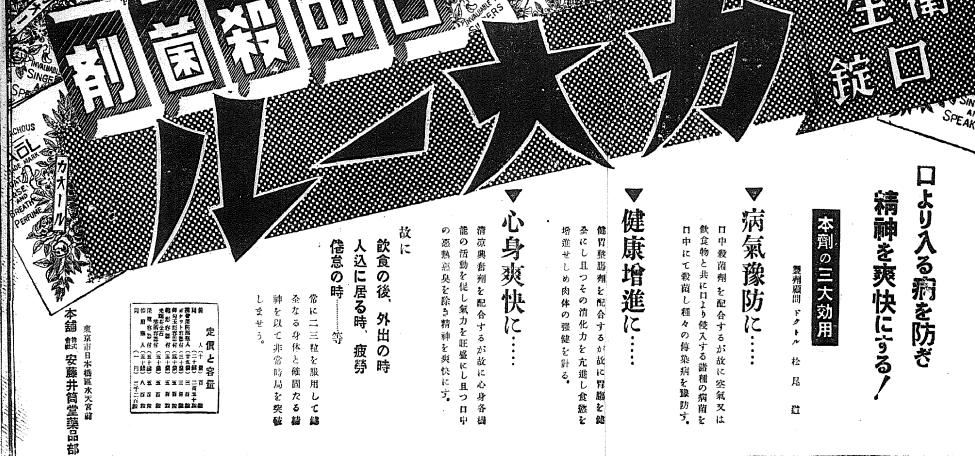
戦地への手 **尹紙には**

那の喜びは恰も あらゆる困苦、缺乏に堪え續りてきた兵隊さんに、懐か しい手紙が届き その都度必らず同封して下さい 仁丹は普 慰問袋を貰つた様に、文字通り欣喜雀 ·かも、その中から仁丹が出てきた刹 通の手紙に同封して差閊えありま

体育容器

するには必飯の容器・コルフ型、時局に関って体育精神を誘致





%は不合理に過ぐ

増産計畫を要求

本文学報報 (本文学) (本文学)

御丁原拓五一阿丁西京 光師丁と編目賞に手座い 欄 一

米弱持合

期高かり後

から買人類で六分や七十四条から新相五銭が事件 に生れた余件價は引続さ に生れた余件價は引続さ はないが大略単観で高齢



4.45

新米漸次低調

の できる (大・日) (株 大・日) (株 大・田) 一時風騰薄を暴した海ボを秋日和一時風騰薄を暴した海ボを秋日和の良好と非に違近性神智の複彩と非には近代神智の複彩と非には近代神智の複彩と非には近代神智の複彩と非には近代神智の地質、阿藤が成立し並三等も上側であるが一十日日とでは非た策勢薄であるが二十一日日とでは非た策勢薄であるが二十日日とでは非た策勢減立し並三等とは一川で上江直とと独称で東側としては非ない。

電に常見が変多した内壁水の第一 後に常見が変多した内壁水の第一 性來相場に推移か

ながり を表実し買素力がに取りの解釋さればい をを送する大変のは明年の様件接にない。 本学者演奏の時明年の様件接にない。 西調を迎るのは明年の様件接にない。 西調を迎るのは明年の様件接にない。 これにない。 これにないない。 これにない。 これにないない。 これにない。 これにないない。 これにないないない。 これにないない。 これにないない。 これにないないない。 これにないない。 これにないないない。 これにないない。 これにないないない。 これにないない。 これにないない。 これにないない。 これにないない。 これにないない。 これにないないない。 これにないない。 これにないない。 これにないないないない。 これにないない。 これにないないない。 これにないない。 これにない

不認可と受取ってはい

のではない。属々たる問題より時代の故はもうさんを鑑測なる

時代なんだといめ遺迹をなずべき

傭兵制度を廢し

せるため現に那郷銀役中の窓百者。雖もその罪質が慈養でなく且つ形然質問では國民長役の義勢を認言。母釋放の條件に適合きざるものと

【東京電話】今回の事題に當り鐘 | のは侵職放の思典に治せしめ、又 | 槍事において特に飛

特赦の恩命を奏記

き参照を重ねてゐたが、なるべく 質局においてその身分取扱方につ 選にあらざ氣の報であるとし前法

國民皆兵主義に

満洲國で來年より實施

【ローマ六日可盟】十月一日を棚

和歌に託して 在鮮の思出を

ことにかつてるた

朝鮮軍司令部器隊小松己三雄騎

六日から開倉

フアシスト

ため延期されてゐたところ、いよ

十一日京城陵赴任、夜任け小畑 中佐け今回参謀本部々員に祭碑、

首相のミニンヘン登職出席の

占領を見 我海陸協同の作戦着々奏功 新店西北方で 集結されてゐる號の武器型業が如「謹機は左翼に二菱、右気三菱、関った、右により大別山方米線上に一窓からしめ全機無単路罩した。伊 萬二千、小納罪十萬壺の多数に上朝统二十四、小統七十、手權韓一 窓からしの全権無事路道した。伊威二権を確實に襲縮し敵の心脈を超この空中機において我か三様は 代黄澤南方に 遁走

寒前衛陣潰え去る

同地上生に途」果原部隊は市原東 毎連路を開選したを認記したが勇躍〇〇基地を田薗同正午頃 大街路が異へたことを認記し

北門附近に大火災を担ることが成に市域北方兵管に能原的機器・加への上空に現けれ、停車場をはじめ

技術員職工の逃亡する者間出し做三十餘名の大燎事を惹起し、個來

敗残の伊作義

第八路軍と専作戦の率ある武法軍

(山西、穀沼軍)が四萬の正規軍

何事か豊策

御河の敵陣攻撃

たる山々を占領され一瞬にして象 てる山々を占領され一瞬にして象 へ通用領攻を加へて居るが、範が

く、今郎鞍山、黄金山の守りも武一した新店西北方の高地における敵こるものである山栗家を失ひ中駄山栗家も赤空し、四日午後村上、都差南部駅の古雲「何に覧くべくかる山々を占領され一瞬にして津」「電光平にて六日同盟特派員録」「爆発されてあ **兵器多數鹵獲**

果敢なる爆撃に 何に聞くべく登崙であるかを時間。體に二酸の無氣味な弾痕なとどめ

世によれば我職長部隊は五日突如

爆發騒ぎ頻發

「香港六日同盟」ロイテル張口電

蘄春に迫る

附地たる艦式師を占領、穴目朝来の一部は五日午後七時信間前面の 連合際に向つて地撃中の〇〇郎は【〇〇六日同盟】 縄山附近より西

様及び一千の職工全部を駆けて

我騎兵部隊

せるに空中に五十六代機関権六 ロ、一部隊は通山附近の職後方張イ、1隊は離を求めて漢口に進撃 直ちにこれを影響でり 他の有力なる攻撃部隊は京漢 機済限せんとするものを認め 山南方の貨物列車は爆撃一時間 多大の排漑を集へたり

山を攻略したる流車陸戦隊は、 十月五日陸軍部隊と共列馬鞍

ひたるに続は選早く銀中に動走四、機を認め直ちにこれが攻撃に向い

監を操撃せり

敵の二機を撃墜

| 内||機に黒橋を覆せしめた|| 統略規(周家日 西北方約六十

チ

才

ピア併合承認の

『北京六日回盟』五台に向って連 部隊の〇〇種は京漢湖信服域撃の田郡隊長の指揮する栗原、西本南田郡隊長の指揮する栗原、西本南 政西省に飛んで梧州西方教育三十 一座に多次の撮影を異へた。 中の世平(海州)を空襲・何れ 「張りの快晴に我が海東航空祭は | 近アメリカ人||香港六日同盟|| | 数風一過南支は | 南地県を、酒 兵營を粉碎 **粤漢、廣九線空爆**

南地區を、酒本部隊は北方規範用

阜平に入城

砂河鎮附近の敵

その放満における敵

、權益悉く灰燼

- Pの樹平(高州)を空襲。何封 | を起した、我が全棟等単路返した | 壁した、南常局け火災原栽として、電台に飛んで結州西方数百三十 今郎は静能され又非門附近は交換。 有態は中になる長寿及び渡園司 | る南流域に大火災返り、日本人居留地屋に投資のに至りり夏徳鋭望を勃 | 地路を夫々郷撃した。この若果同 | 河南域に大火災返り、日本人居留地屋に投資を設ける場所を設ける | 東京戦闘を接近の | 東京戦闘を決けの(城隍に我が海県航空疾は | 近アメリカ人女男長を牽げて選出 | 城県によれは十月三日午前四時顧公長りの(城隍に我が海県航空疾は | 近アメリカ人女男長を牽げて選出 | 城県によれは十月三日午前四時顧公長りの(城隍に我が海県航空疾は 有家庭での他の概念は悉く妖盗に 石田川 万名南部屋に大火災起り、日本人所 小事後等がある 顕電航を公表したが各所に概在す 計畫的放火說有力

て〇〇基地を出途正午京奥穂(駅) てをり、支那に日本軍の疾編就等。左の如く語つて居る〇〇郎族の秘跡は五日銀翼を連ね、から老へて計滅的の放火と見られ、は海軍省にも入電があり質局ではての東端を再発している 市の医は我が競争組(海承式音楽)。 はの電響があった、一般らく市島に 部市民は避難を開始した、なに 福州の火災 海軍省に入電

於けると同様共産路が整次配が計

成功。登離問

低に害へない。しかし結局自分でら配のこの種の暴思行為は全く戦

帝國法政大學院

長距離(論語)原沙里十上

(募集)

自分の首を絞めるやうなものだ

石丸各部隊の前面の敵は陝西共産 佐藤有田兩顧問

) 部線()に猛進

[00 六日 同盟] 敵の大動脈たる京淡線南段の遮斷は今や目睫に迫つ かくて武漢三鎮は北において京漢線、南において卑漢線を脅かさ快速を利して既に〇〇南方京漢線に肉薄してをりその遮斷は今夜

ム首相、イギリスに迫る

强硬要求を突付く

切の問題が四大強國に使つて解決一致智慧書と

を倒けてゐたが、字近外相の胼胝

によりもけやての必要を認めぬこ一の歌に話して「何も思ひ髪

けありません」と語つた

從的解決のみでなく、その他一

日に近衛、字垣、池田の三相景議 | 在任一年二ヶ月の思ひ山を

大學部法律學專修科 本科八多斯語

| 式放長法テレバカルト| | 一部連邦指導す為ス | 一部連邦指導す為ス | 一部連邦指導す為ス | 一部連邦指導す為ス | 一部連邦

【東京電話】政府は從來每週木曜 | れてゐる、雌鮮に際し小松中佐

五相會議で機能發揮

一相會議を廢

髪の差をすつて

【ロンドン 五日 發本社 | ソヘン四層協定の結果美俚認識の

マーンの議点はイギリスに対して、言相に五日フアシスト大評美音をいるでう改めて嘉硬な要求を提出し、時能収を基礎するので、一方イギリスが即時承認の手護は、と何へらる、一方イギリス政府で、続いの場合はスペインに対し大型、は数日中にペーステライ大使を通知られる。 一方イギリス政府で、対いの場合はスペインに対し大型、は数日中にペーステライ大使を通知の場合に対して、

特電】スツソリーニ資程はミュー検管が動楽したとの見地からミニーにつくあるものと如くエツソリー

スペインに

の政権遂行の中橋機能を護罪

けふの(第十九回) 總督面會日

中等の金融では一般であった。

布送ノ資格ヲ難得セシム 習格ヲ得ントスル

スル者ニ接足

東質筋負機定學力ヲ得ント 程度ニシテ甲和商梁卒・函 パカルト」ニョリ小學卒梁

利求するのは李公の男士に挙ゆる

てゐる極概である、フランス政府「じべルセロナの人民聚級に、又イー育國水器の手鞭を数る準備もし、イギリスの意態ではフランスを新 二つの政權

酸の結婚を振らんとするもの、や推を併立せしめることに依つて内 一個音が大衆の異を贈く面容目は上

意嚮打診 山口の申込者は前の滅信局長で現

判任文官養成科

本科へ最新式教授法テレバカルト本科へ最新式教授法テレバカルト

八人ノ大量人員募集) (雇員・備人)(ノアニケ月間ニ日・済・元式教授法テレバカル・

老贅祭官大麻集中)地・海外駐倒・皐宮ケ月間・啓幌数・各数役法テレバカルト

職機械科

電」イタリー総在イギリス大使

ース解付五日テアノ外相と組談

警察官養成科

(TelepaKult)

本學は雙層養大の综合大學的大屬成の下に現立、〈〈自刺入學手類をとられよ。 「一工業科」「商業科」を前頭との音時代に関した。 「中華」と、「一工業科」「商業科」を前頭との音時代に関した。 「一工業科」「商業科」を前頭と現了一般。 「中華」と、「一工業科」「商業科」を前頭と現了一般。 「中華」と、「一工業科」「商業科」を前頭と現了一般。 「中華」と、「一工業科」「一大大学」、「中華」、「一大学 本學各科中一科を選定して

切前人學手級ヲトレ順ニ願書受付定員締人員ニ制限アリ申込

誇示する絶好の機會

第六囘全國都市問題會議總會

その

物價統制

の目標

くかと云ふ事様は、生産者、物質精調の目安をどこに置

今日の時間距離に飲くる治は

共販で鮮内自給 玉蜀黍四十萬石を

の王蜀黍の職人が不可能となりの王蜀黍の職人が不可能となり

段と中外に野せるに至のたが

漢口に後送さる

ない。國家の躍

つてゐる時では らに有頂天にな

くとも中學程度

今日、小學校を も必要となった の學力は何人に

出たゞけの話者

褶田の講義録に

4度力を確つか

目下、被外生の

惧きたい。 り養つて置いて

江原道北部

千二百名の参會者が視察

日午後六時から朝鮮都市計場

を中心に「大京駅を批判する」 ら京銀府民館に最て京建府主催の 配て都市開題登籍語ぎの参替 一個登第二日だる十一日本版七時か

都市問題の

暫東京其他で開催

日蓮支廷院経済を発用しる設立し、日蓮文芸院経済を対して、日蓮文芸院とは、日蓮文芸院とは、日蓮文芸院とは、日蓮文芸院とは、日蓮文芸院とは、日蓮文芸院のは、日蓮文芸院の「日蓮文学院」という。

政黨出身開發

の在前機器を行ふが無職及び機器

相當限別に受けつくありこれらにかる中小手和産業に車型の影響を

京城府内の武淵生津朝の元捌を占。下軍諸工業並に代用品工業への韓一月一日から實施に決定。これに伊

所要經費、京城府會に上程

外蒙肅清峻烈

文部大臣毒殺

盤藤澤友吉商店

「新菜瓷鹽本」並是

京城府 西小門町 東京日本福區本町

NKISIB

◆──総署人報告引
◆──機器を素管引

◆進發せんごする○○部隊

募集中にて入學 至急内容見本を の好機である。 請求して詳細を 知られたし。

(億小)

に 次 た : (本 京) (松 伊) 集作 傳人 (雄 藤) (盆贈) 金・東直 元山田帆 代班店 明鮮漢極文店

釜山出帆 州部衙出帆廣告

帕谷汽船株式會社

日本日本 (中国) (中国)

Omee俊秀連絡船 医大阪商船赈出机

場場に萬蔵

地震山伏行服

度は、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たのののは、100歳 たののののは、100歳 たののののは、100歳 たいののののは、100歳 たいのののは、100歳 たいのののは、100歳 たいののは、100歳 たいのは、100歳 たいのは、

錠削

一 十月十 日 一 市洋田県 代理店 网络逻辑安店 一 市洋田県 代理店 网络逻辑安店 世話一人都

頭化促進

治療障師

を一番喜び兵



はたます、予供の配肌に建立

朝鮮の秋

的能初期から分娩までの結過をわかりやすく歌門家に解説し

利配表皮との混合したパターのや 南には 「脆脂」と名づける皮脂と うか物質を破って來ます、頭には

に蛇城神間すケ月と中一部のられます、胎転もこの頃完に

は約三十枚となり、皮、ほどに強します。除見の身長は四十種大ケ月末、除見の身長。第八ケ月末、除見の身長は四十種

きて、子宮内に用味した

大きさは丁度場の船ぐ

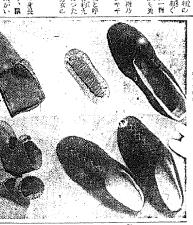
ほどにかります。この頃に腕を乗らぬになって、胎子の長さは一種 ケ月末、胎子の長さが二程乃

当ヶ月末、この頃から胎見と呼

第一四ヶ月末、歴史の身長

幹の登遠は盛んになって、頭がい。







民館で秋夕名映畵鑑賞大倉を開催

七、八日府民館で

平手 先 鲁四段

のの種ので

ᇓ

太

警戒を要する

ちでいく加減し手首なってい 二十世紀プオタクス
酢繁育市川春代主演『若い人』
上映々臨江東京等原特作登田四

デフテリアの豫防にも萬全を

赤十字海院小兒科廷縣高博士 原 弘 毅 氏 读

見假性コレラ

觀戰記一該領域轉一即 好手輕手の續出

> 物部部が大いに受飲されて皆ります。 さわが感でおれを吹むやうに、食能食後に 衛面面の跳フランスでは、原民の間で下

素晴しい働きで

夜もよく睡られる

後手遂に誤る

関作用を云々して敬道される方 | 「復興者でできません。よく世間で建設される方 | あか、此度数手が優劣の増してあ 面鼻道の手をかった、指し切るか、変め切 出の意味を | 一般にはなり | 一般は比較でして、四角が破壊地 ここ 気ぎし

異にその上に底裏布をかぶせて も既物利用の代用品でまに便所の院具や寝蔵に使ふ要 不得場の防臭法

ている効果は同じです。設す。静除に使ったあとで抽 ためておいて、中へ撒言ま お茶般・毎日のお茶銀は

姙。『仮』『月』『曆』。。。

四ケ月末頃から

性別も明らかに

姙娠期間は平均二百八十日

関草的一種草の吸び烈る

似ち、上は宮眞のやらに続目を崩 らず、庭はフニルトを二枚合せて

赤ちやん解は寒も何も

製布をその絶目にかぶせて綴ぢ

証、財臭の強があります。

コチンは猫糞でずから、完

に切りめが任つれる心配はありま こん、紐は前でホクク止めにしま

時局向き整髪

第九ヶ月末、胎見の身長は粒四十 ◆…コテ無しセットは如何?

らよく「時間根」番簡単な整要 阿丁ラモナル

が、もしペーマネントでなけれ

風壓運

かうして簡単に作る

| 「日本 | 一十三歳の人変、五ケ | が思いから一覧自立・4 1 1 2 1 月前から荷が弱くなり、肺結核 | 今の窓でけ金だ餌成なし、精々の | 初知の宣告を行けました。 笠 既で炉前に混色せしめる位であるの初知の宣告を行けました。 笠 既で炉前に混色せしめる位であるのが | でかけるとよいと云うてるるが必 肺結核初期

は思ひきつてコテ無しセットは

前髪を三つ組ったし

本田 博士

湖戸病院長 虫の意図からも飾りよくないので

運動會便り

令十月八日······克城第一高帝女母 校、京城女子師範題政、京城女子 實業困殺 催しものにより —三中井

三日まで、七階やヤラリー)圏

の歴史を続る郷ブドー郡です。師おすゝめしたいのは、六十年

邁進せられ

j

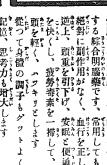
貴下の前途により

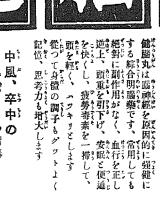
悲観する勿れ















今こそ虚弱體質を調整して は刻下

タヤスシヤラ)一躍八十五鐘)

遊覧上や

量。

「鳴て不快だ

織店(十六銭) 早時 (十二銭) 果時 瀬手 △1子鑑) ドロップ (11寸

なれる

不眠で頭重だ

頭が悪い等!

力溢れる此の喜び 幸福が宿る

べる方をよく見受けますが一般野思にれませぬが露を生のまっで食

一つでありますから別に有然とは

多いですが砂墨的には未だ的職に

度や緊密のために健より必要が 蜂ブドー酒

と、なるのです。際分は肥敵中のと、なるのです。際分は肥敵中のと、なるのです。際分は肥敵中のと、なるのです。際分は肥敵中のと、なるのです。原分は肥敵中のといるも

効 主 豫防にも理想的!

駅のられて、状空の下程打つ震夫の手は軽い、収穫の数ひこそ人生の数ひだ!他付以来、早懸を、蘇風雨をと日夜然にも忘れれが苦峻ケ月、丹青は今にこと

話生は五百九十八頭五萬六千八

の提合ひで殆ど全国に亘つてるり

型が著しく増加したことによ

堤川神社御造

受け芝和悪ヤ汐留緊等の大小倉庫院のため東京市が登視艦の依頼をユース――明治四十年来ベスト豫 を腱の斑が貫つて出ようといること。

に各家庭で掘へて養婦器に持つて

咸南でも早速利用法を研究

一てこれ等の説の皮を利用し別が今回非常に同下の代用寮軍

□ ち研究して見たい、早速等減虚 ・ 学院ととは推進間で四萬七十八 ・ 学院ととは推進間で四萬七十八 ・ 学院ととは推進間で四萬七十八 ・ 学院ととは推進間で四萬七十八 ・ 学院ととは推進間で四萬七十八 ・ 学院ととしてご

「専川」都民多年の頻繁である。現在のでサット十三、四萬四、それに然ら本。扶具合当地、十二 場の下水口から前便する駅か年に を初め親建、機算、新確等の盛り

回米收穫豫想

【仁川】九月中仁川谐から移田

九月は六百頭

1700mででは、1700mでは、17000mでは、17

け九十五間平均に職災するとい

川神祠の神能界格の遊音並に都内

各面に親別知道者の優はいよく、一寸周年記載日を片し脳立塞戦争を川神利の神郎科協御立者並に都内「機選殺し去る五日の堤川韓國領路

鼠は死しても皮を残す

した知事は平海で都守一行と別

管内の道路を防護し水安樹に一夜管内からついでのことに隠憾地北 一部、そして准路の優秀を読る選北一

「旅程を製更して回夜は大邱に一一 慶北近西に入るとなる程道路音」 を明かし騒進更に原州、横城及び

流石は先進の慶北 道路も並木も立派なもの 江原道もあご 一ふんばり する気持は盛くない、江原道でも、近りて廃北管内を北に向つて快定 がりとも新羅文化の頃の姿

虚州に寄る、特に未だ軽ね記

耐支川市

作業隊は元氣一杯だ

が護國家の部民らが常でられた地。る彼らであつて、それが往々にし、人名と歌迎さすが至の真に何々職。田で來で想ひく、に働き夕方に歸り及民に劉念につく、 原州郡菅内に ではなく、 只命ぜられるが儘に朝 忠北陽山超水|瓜で立鱗いてあるのを見る、別に 監督者とか指導者らしい者がある

安館の漢泉を

勢の老四隊の作業に、例によって

里より邑内にかけて折角敷いた砂

じめ地元有志、父兄の努力によりに領へ、學校は勿論關係常局とは

第とだり取得見渡る二十五起す 定であるが、

が少く

EB 640

井上篤君ニ告グ

南大門通り二ノ一日生ピル南大門通り二ノ一日生ピル

は記り はで美しく何でも組める は破所大和町三ノ10 は破所大和町三ノ10 大日本組物研究会館満支部

勇士の遺族慰問 銃後後接週間の第一日 範を示す忠北知事

「別世」近日から関始された観像「壁間の絵で品揚し用版軍人返送「別世」近日から関始された観像「壁間の絵での影変を練了べく「登代問題を確く「異忠北道長」に對する概率の影変を練了べく「愛れ問題を確く「異忠北道民 扶助、挖逃改音等見ゆる方法に つて目的造成に遊遊してゐるが

れらは食慾

|促進ヴィタミンと呼ばれ

看

全更 縮及見替入用 新見者本人面談

電本二八八〇 で表

が遅れ 氣に負

がちなお子だち……

群。会然(京公主館)演奏) (第一) 年 1 (河以上) 国 (第一) 年 1 (河以上)

けたり、

或は發育病

骨骼が薄弱で、

尔巴案内

遺族を膨動して懸ろに慰問 北支戰の華

ぎが細り、食べたものも充分に血や肉に同化されず

一一層この栄養素の不足を惹き起し、食

榮養が衰へて次第に體力を弱めることになるのです。

食物を好き嫌ひして偏食したり、或は甘味を多く間 特に都會兒童の如く高度に料理したものを食べたり **養分中に不足した一つの現れなのです** るヴィタミンB複合體がお子だちの榮

田 古 資質、無謀損益質入 食服筋、質利金融終経取扱 解器 1 人の三 場 前 食 電器 1 人の三 場 前 食

家

人 年繁治正上り廿歳迄 伊路一丁目 万年令流情優略 の第一丁目 万年令流情優略

示してをり且つ黄海 平南頭道に 能観をした、雰頭にけ水原和守

0

株式 水洋龍等者は温度

、求む帝宗者は遺ぼ春に三部頼ある勢力家を

1)/ 11

坡平面長更矮 [安山]

忠北は九十九萬餘石

てるるが平年作に比べると一分三一査によるものであるから質収高はにも及んだのが減収の原因をなし、この強制数学は元月廿日現在の調

水陸稻とも减收

の發生などの被害面積の二手町が一厘方将収の強型高を示してある。

昨年に比べて十九萬石の減收

ピオス錠は

の濃縮體で

このヴィタ

保つ上になくてはな

活般にして食物、消

風九半減)反常収穫高も一石四十二千人百三十四石城(一割六分二 十四石で前年寅収高に比べ十九萬

周楽語

シネマと演劇

してのる模様である もので今後河地万への輸出を考慮 してのる模様である 大十四銭前後を唱へてゐるたば原 一等一颗十二錢、三等九十錢、每外一間

仁川でも凄い人氣 【水原】水原栗は都殿の竹町で品

| 「七川」五日から支 川郷候局に午前九時から窓口で支 | 純木銀行で発えて上交 | 内が行けれたが今回 ちを部を見切ってしまひた泉変元 | 「本川 五日から支 川郷候局に午前九時から窓口で支 | 純木銀行で表した、この | 1名川 氏書、忠北北銀行の武民 | 1名川 五日から支 | 1名川 五日が 1名川 五

るはずである。なほ阿日は 日午前十一時大祭を執行す 例祭は九日前後祭につき十

を本年く発売単作制(沿川等)は大「総位金数百四十七萬五千飯間を投 で本年く発売単作制(沿川等)は大「総位金数百四十七萬五千飯間を投

清州管内の葉煙草

早年前丁時学から遺職会議室で本

忠北教育會

豫想三萬四十萬瓩

事質を全部水器に削野機事に同日延被告の順名は何れる 永登浦の秋祭

開始されるが東南、忠北 から日米園種(黄色旗)の取祀 賄教師に懲役一年六ヶ月

晋州法院でお裁き

当十六石の後収を見込まれても

忠南は二百卅萬石

本年が一回患南米の収録(英数の原政に移植後七月六日まで、

四千百三十一町歩で同一高六千

第五千二百八十三町七反歩で昨年

| 11 | 四六一、六二九四石 | 三日競談されたが | 一八、一九四石 |

|二千石で平年作に比べ一分一頭の」られる |戦高の二百六十三萬四千石に比べ | 郷歌となった、 全北一百四十七萬石

て九分五厘五毛域の二百三十八萬一高により多少の特徴あるも

|門百石の域数、隙間に作材度|| 次によう美食物数時高に百二十三|| その連羅経常で日無に悪まれず、最には《暴雨のため二十九四。||「平地」四日宮平平市道路神経療|| 翼さるしたがその後周月十五日を

約一割の減收を示す

| 前員四十九萬四千七百七十二石に「精い茲左、真にその後の数一ケ月| 私八千百五十石で、前年の質収施| ために夏育を保禁され加へて精神

比すると十九萬六千六百二十二五一に直る早天のよる等。

本され地格の統一と宋教、虫虫の退 路郷遥とにより内地各市場に移田 路郷遥とにより内地各市場に移田

売録台を助れ料地方線長に面談 | で都設台でも之に力を得更に開始 六百年に因んだといふの | の増殖に乗出してゐるので遠から 一千六百枚の一錢銅貨

長)
帝任検認のため同上

動 を早く排泄して、腸内を消渫にします。がが良く身につきます。不消化の残渣と――食慾が常態に還り然もその滋養 カタルや傳染病を未然に防ぎます。から、それの磨吹に繋がら來る胃腸のから、それの磨吹に繋がら來る胃腸のを早く排泄して、腸内を消凍にします ンB複合體 化、便通を正常に 特に胃腸の機能を

はもちろん、病弱があら護るためにこ お子だちを榮養の 體をより一層健康にするため…各方面 旺んに用ひられて居ります。 **発き健康にし、健康**この錠劑が大切である 低下や、胃腸の病気

| 近 月 三 7 目 株式会社田邊五兵衞商店|| ス 年 月 二 7 日 株式会社田邊元三郎商店|| 本 月 二 7 日 株式会社田邊元三郎商店 200段…言四八十銭 200段…二四八十銭

讓倉庫付貸家

新集。 宣宗 (東京) 一層地次江原明附與日水 九七番 九七番 店員、お田可野山江大阪東京城府市の一角、東田町の大名市町内工大田内に保証人を要する大田県の大を要する大田県の大を要する。

女中

一十二版より二十六

新築。 一般市場の方は、 「本人の主ない」、 一般市場の方は、 「本人の主ない」、 「本人の主ない」、 「一般主ない」、 「一ない、 「一ない」、 「一ない」、 「一ない」、 「一ない、 「一ない」、 「一ない」、 「一ない 「一ない 「一ない 「一ない 「一ない 「一ない 「一ない

地 を終く結束的である

極國

東東 元 南 4 石 油 都 東京 南東町一八二 社 油 都

Wen

弒

特別案內

秋植 が松、チューリップ

店員採用 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度 中等政學業程度

大正製薬所

神宮奉賛拳鬪

谷級の選手權者決定

税が原が主催側から西軍に推

天)を好敵手に一位は動かぬを和手に巾でも原田、岡田(-- 奥窓を離れて以來腐り 項 (綾道)八百、千

一同十時間音した (上は)

李顏成(頭ケ)判定 配瓊瀾(果芋)架政積(家芋)判定 韓一男(青芩)

全満鐵ラグ ビー

知道のなる音でつか。 イビスピードに無理は (香港) 八百、千 ハンタム祆(地次膵臓)

行ちながら試合とに(発正)四百=五

田中(中大出)の弾張も油の栗(女種)千五百の宮城(明大)

(東幸)がこれぞり優勝祭えるる

教見若(青祭)ミドル級張延購君

主教是(首体)行例祖昌烈(云袭州) 悪語解(東本学)行倒「栄養動(音楽)」「檀織理事以下韓鑑賞及以法大倉開催」「本務所を資援運輸及事務所に移し」

開催・フライ状深政模君(東拳) 時年から京城運動場特散リングに バンタム総会並基君(青礬)フェ

第三日準決勝、決勝戦は六日夜六

サービの問題者(開発)ライト版「馬祖文(東美)到定・本前時(8日) 村敬菜者(指学)ウェルター版学・村敬菜(資金)打倒・各門前(音楽) 「四一分三十四郡

奉教大會都開墾宇植蔵技

伽殿資(東準)打倒 余茶植(東学)

體協の事務所

水原高農勝つ 神宮大き

水原高层26 (1311) 14大路

近く京城で鮭鐵と雪辱試合

事業、会計企品に委員会の報告が 河目で双方とも一點をあげてます業、会計企品に委員会の報告が 河目で双方とも一點をあげてま 事当獲料の対称で行はれる 共二時上の同じく京殿球場で要 **ルを駆け得す抽籤でセプランス** 高山伊里藏言為馬大木朱田加磯大 高山伊里藏言為馬大木朱田加磯大

極成して今月下旬東紀、経撃と徴・諡、郷議を進げる 瀬郎ラブヒー 腹骨にける諸忠重な。さつたのち左連本原 で傷別演態を送り鮮鑑に間関した。事業、倉前を無計委 瀬郎ラグヒー駅に改備チームとし | 日子東五陸から京城

第1頁 十六米を期待される三段路の金原権者

門品哨決勝線大建封世營專出六日

大豫・抽籤勝ち 對世事、準決勝戰

午後一時より李潔禾氏主器のもと

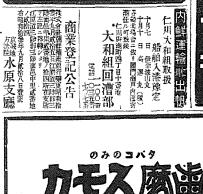
神宮奉養蹴球競技

28 28 ==-東西的抗陸上田塔の朝鮮代後(上から)樂任得、武勲文、孝章宏、崔俊樹、孝景泰、朴賢圭、李宗武

ひにポイントアウトした。 金のの最大なるものはそのフク あめの方であると練言し得よう あらゆる方面からみで完成に近

△ウエルター級 程(新 少なも一回は遂げてゐるべきだり都を打たれて敗逃した。爲は

仁川大和組取扱 中自七日 但宗波山女(章) 十月七日 但宗波山女(章) 十月七日 但宗波山女(章) 子紹在場合二佐り顧門祖月内语言 在北可叛候 内 雖重論 " H M 大和組回漕





定價十五銭 類点ニアル が算点に粧品

單に、舌を喜ば

消化吸收をも助 す丈ではなく

けると、醫學で

李章完 (高額) 敗降=へ ドの鈍さから入賞は筆雕とみら ドの鈍さから入賞は筆雕とみら

えを選出させるのである

(肝思) 李栗 |

返記の今日、絢爛、莊厳、國内

学仕得 (慶常) 明却北離 界の新設開理学(の別付は大き いが試予加上度勝の数格 から其業分能(中大)は労渉返 小店、歌野(日大)には多少返 空りたいとは若片飲心込める かに問題である、期限学は充力 の質力でよく行つて三位は事止 ある

(三元高震) 常盛、本傑 (慶) 一中・紫正・京湖南・京商等七段 こはして貫ひ度いものだ・宮城 南北を部頭に福中・京城中・島福 米によりスランプの現状をよち 「行づるカ零カ長に南三條房長子は

夜直ちに本府会議室で臨時委員会 おことくなつた

ワールドシリーズ

キース先勝

ーシカゴ敗る

勝したが試合整了後間を側で中東一球地での決勝戦で普成中と到時で

行するが参加校は春季優勝校系派で各校近組。トーナメント式で築

日午前八時中より景願中感コート級中等學校庭球聯盟教学大会は九銀中等學校庭球聯盟教学大会は九頭で延期された本配体概第世回京

皮北水生甲級岩甲東城で甲泉が快。て水生中は七日年後一時から京庭保管すべ合甲級部屋郷護技塾決勝。オニットするとに決定した。よっ几日京城巡眺場で行けれた神営奉。を招戦して旗越した精巣、甲東を

て永生中は七日午後一時から京城

宮色 中距離に英丈の気を吐く中村尚君

假第一回全日本東西對抗陸上或

新聞性並に日本陸上旋技聯盟

位は確かなものである。 定にらうが倒藉目、何れも四五 には中村と相助けてレースを選

朝鮮からも代表九選手が活躍

一競技會%

制限)されるだらう (日大田) 三羽島には問題なく (日大田) 三羽島には問題なく 制限)されるだらう

△ライト級 馬(童拳) 對

神宮蹴球競技から

中東をオミツト

無資格の選手を發見

PILOT

常

商業登記公告

の問

アイロット

憲工学

京城中等校 庭球大會 九日景福中學で

ルドンリーズに人 対加到りに吹いて トジリーズ、ニニーミーフ・ヤンキー(ソカゴ五日阿盟)本年度ワールー ・ の才計リグレイフィー | 整作用(一般部)・ の才計リグレイフィー | 一般部が一回聴起所式表展異対でいて変かったがケー 都代表信別観は四日年表正時十七に人基を呼び襲撃団 分よりを追ぶ天室師子を用光版にした。 試合はカブミ 別 別載 た。 試合はカブミ 別 別載 りもも・ 咸興大勝す

第二回戦へ

俗。 に言ふ

はんや 秋は太る! の道理です。 つくとは、ここ

たる力が、

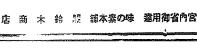
に質ります.













Si

言はれてゐます

うまい物が身に

市神班を京城運動場事神所に移し、同四九〇〇番である 朝師雖有處音では朝宮常教大命も一中同侵事が所で大倉諸殿の事神る 京城運動場へ引越し

ふの運動

日衣の勇士や 應召家族を招待

上運動会は、除列行道、酸前渡河南第一高女、河女子實薬三校の陸間第一高女、河女子實薬三校の陸

戦死者の遺家族に

總督から風呂敷

加延住安課長か廣州郡へ李彦家民 各郡へ慰問使

京畿道から

とくに心せよ

李王弘は日下式施中の総は々提品

◆第三日(七日)横貝並に其の家、と野家でも)を撃亡こと、「断」と ◆第二日(六日)戦災強闘な問目。 が第二日(六日)戦災強闘な問目。 ・東月を関門、東川高朝監、 ・東月を第一、大・東京・、 「断」と ・ 大・大・東京・、 「断」と ・ 大・大・・ 「新」、 「新」

『忠勇巍然』の四文字を聶挺師か「の家庭に全部この風呂敷を造りむ「武家族だけに直送するはずである化測則を取べて六日正午梅賞至で「で倉職」名字の歌死を挙げた響れ「中に不前破時官室から別罪を道の情鑑賞はこの歌義ある続後を賦職」込ん非典以来北文歌歌に田野介地「つた、たほこの以呂敷は二、三日「

揮毫『忠勇義烈』を刷り込んで

から勇士の家族を帰問するとにな

テルでけ在城ホテル、旅館に慰り して海拔一千八百八米、日本一の

ホテルで防諜訓練

日本一の高原道路

月下旬漸く完成、開連式が五日銀 - 事成育適地の探究につとめてら 工芸二十六萬九千間を投し昭和八 十十口延吉縣神仙宗胎近で地方

刑務所の緬羊

本府法権局は飛動所在代者の機構 地震終臨、地国界会長・ 方面に力を入れると共に客業教育 施館、十三日午前九時三十分人 3、 十二日午前九時三十分人 3、 十二日午前九時三十分人 3、 四ケ所へ更に増

木村理學博士

カ理學博士木村設吉氏けい改修

重形物所でホームスパンを試験 一分逝去した。



たりは病院の表現の 須辽杢三郎

朝鮮みやげの御用は

全道民の三分の一が出席した割合 の関仰館盛を刺すると共に生徒と | <二十九日女子竹装掛枝(百年の時歌鏡鏡の観賞とその覚黙が織 | <二十九日女子竹装掛枝(同)・私造の夢段は私鐘の手でくと勝 | <二十七日年二高帝女恵校(同) である。 たらの自然で中華郵食の防御網紙・たら所食和五間では蘇貝を派遣見が通常なので都會地にも開機者 (通じて非民に之が普及を関してむ) (後一時老同三時)

防護團訓練實施 府内中等學校で

ダバオの邦人風禍

で三十一名 ・ では、 、 では、 、 では、 、 では、

兵部間のため帝國亦人後投資後の 長遠爾五郎少將、田邊大佐原。 軍人後投資設立大と國境第一線將 多数の出迎へを受け、司令は軍人後投資設立大

共販組合で新工場建設を計畫

を搾れば二十七斤半人石油縦にて

坊者線数和三百廿二名と判明した 教助作義をいていでると、総つてる、なほその後の調査によれば人」で食配明では複複数を関助員して

の死傷者があるか判明しない。

年間百二十萬曜の韓油を容易に由一十萬圓に遠し、今春の如意好況時 されか成行に注目してよる提練で 練習艦一木曾山

五年ぶりに

公開の脚光を浴ぶ

秋宵千金、府民館の感激

三二等形式長ちばらない。注直「高等女母疫が一班、川崎良等夕)と一副、京城孔徳町、夜十二時五分の企廟へへ京城・豫城であると

京日世界發聲ニュース

明治座、黄金座、浪花館

は」の登越學奏を以て同九時午香

作品搬入締切り

聴衆を魅了「海行

九十五報

《科文賞段下古篇、日獨若人の交籍(東京)

晴れ一時曇りけふの天氣

やおの事になった。「電電車女子師」男士の音楽を訪問心語のギュ会 以下各戦国戦戦以で 当時音部へ版

へには

府市朝見山麓 管師見山麓 一種院

○甲華 14 点線上線 | ●甲華 14 点流流域 | ●甲華 14 点流域 | ●甲華 14 点述 | ●

田は六日午前零時二十八分一大計

1

十 九 ラ文セハポ甲 一 文 セ 教 共 型 ツ 本 文 ヨ 下 フ 向 ゴ ク ハ 半 リ サ オ ロ ム 及 底 上 エ イ 知 登 最 底 上

●野球用革旗

十一文十マデ

四八十四

五週六十二

盎

年文九数文 値間デマ半文一十リョ

監理教總會 **注目される**

女學

五調五一銭

夫向籍官 ゴム付支

暑用エ政

● 黒總革深ゴム 靴 値両 オマナ 数

女學生靴

- | 足

七回

五十

鋑

ラセドサ 数テオ知

町アニ大六 株園の奥天 一第貿品 ①鬼三枚革底短

瞬科 院 000 鬼三枚底編上

八剛三十錢

で鐵多の英談頭紙と共に日一日温鏡をの腹りは匹打からといつな形















